

えべつの未来づくりミーティング

～ 一般社団法人 江別青年会議所編 ～

令和4年1月26日（水） 江別市民会館3階37号室

1 江別市の「強み」は

- ・札幌市と比べて土地が安く、家を建てやすい。札幌市南区や手稲区に比べると、JR1本で札幌まで行けるとい、アクセスの良さも感じる。
- ・ちょっと行けば遊ぶところ、買い物をするところなどがいろいろあって、基本的には過不足なく生活できる。
- ・イオン、ホームックが市内に2か所あり、エブリなど江別市のものを推している店もある。野幌公園、飛鳥山公園、四季のみちもあり、子育て世代には良い環境だと思う。
- ・丁度いい田舎が魅力的。ちょっと行けば畑があって、美味しい新鮮な野菜を食べることができる。
- ・文教都市という一面もあり、大学が四つと短大が一つあり、学生が入れ替わることで若い人々の柔軟な考えがうまく循環している。新たな考え方が生まれるのも強み。
- ・大学があり、若者が確実に来る。大学時代を江別市で過ごした記憶がずっと残る。酪農学園大学や北海道情報大学など専門的な大学があることも強み。
- ・どこにでもアクセスできる主要な道路が多く交わっている。北海道内でもあまりないアクセスの良さ。地理的、物流面でとても良い。



2 江別市の「弱み」は

- ・商業施設は結構あるが、江別市の観光はここだ、という明確なところがない。
- ・大学で江別市に来て、札幌市に出ていってしまうことが多い。惹きつける力が若い世代にとっては少し弱いと思う。
- ・大学生は多いが、卒業後、札幌市や道外に行ってしまう。もう少し札幌市や道外に負けないような企業があれば、離れていく大学生を抑えられると思う。
- ・江別市内にいろいろなものが過不足なくあることは強みだが、それらが繋がっていないように感じる。江別市内には、就活生への企業説明会などが、充実していないように感じる。
- ・江別市への企業の新卒枠が多分少ない。工業団地などで行っている新卒者への企業説明会にもっと多くの企業が参加できるような体制づくりが必要だと思う。
- ・大学はあるが、江別市に留まってくれる人が少ない。地元企業の二代目・三代目は、江別市を離れても戻ってくるが、そうではない人は江別市に親が住んでいても戻ってこない。
- ・人手不足。江別市で働き手を残せない、若い人を保てない。
- ・若い世代は市政に興味がないのでは。このミーティングのような取組があることを、私たち世代や、もっと若い世代にきちんと伝えて、関わってもらうことが必要だと思う。
- ・情報発信は、アナログとデジタルを織り交ぜるべき。若い人と高齢者の橋渡しとなる情報を積極的に発信していかなければならない。
- ・江別市で出産できるところが、江別市立病院1か所しかない。
- ・自分の家族も市内の医院では分娩できず、少し残念だった。

4 江別市における将来の地域経済の活性化策

- ・市外から来る車が多い国道275号を観光で生かせないか。
- ・リモートワークが増加しているので、設備の整った場所を増やしていくのが良いのではないか。
- ・DX（デジタルトランスフォーメーション）を江別市でも推奨すること。北海道情報大学等と連携できるメリットも生かせるのではないか。
- ・江別市に会社がなくても江別市で働けることを支援する。そうすれば、江別市に住み続けられるようになる。
- ・遠隔地から接客するロボットの開発も重視して基盤づくりを進める。
- ・札幌市では、札幌商工会議所が、起業支援を行っている。江別市内でも起業支援により企業の数が増えてくると、企業説明会に参加する企業も増えると思う。
- ・江別市内の中小企業などで働いている江別市民の支援を行ってはどうか。
- ・除雪や水道事業などによって、生活が便利になっていることを発信する。それにより、子どもや若者にそれらの仕事の魅力が伝わり、働きたい人が増える。体験や交流イベントなどの機会もあれば良い。
- ・最近、副業や兼業が話題になっているが、これからは、一つの仕事だけではなく、複数の仕事に従事する人が増えると思う。そういったことを見据えて、若い人たちが、仕事の内容や魅力を知る機会を設けることができたら良い。
- ・企業用の土地が不足しており、土地を確保したくても資金力の違いから市外の事業者に勝てない部分も多分ある。市内の業者への優遇制度などがあると良い。
- ・江別市には酪農学園大学や酪農地域もあるので、農業をやりたい若い人に、農業を辞めた後の土地を優遇して譲渡する施策があっても良いのではないかと思う。

5 将来に向けて、江別市が力を入れるべき分野について

- ・江別青年会議所では「協働」に取り組んできた。いろいろな人の知恵を繋げていかなければならない。自ら率先してやってみようと思う大人が増え、姿勢を示すことで、子どもたちもついて来る。
- ・人が少なくなりがちな地方では、連携や協働を積極的に推進しなければならない。いろいろなものはあるが独立しているので、連携や協働により、個ではなく、市全体として成長できれば良い。
- ・デジタルを活用し、仕事を効率化することで、人的な余裕が生まれ、人手不足の解消につながると良い。そのためには、デジタルの活用をもっと進めていかなければならない。
- ・今の高齢者は元気なので、働ける環境を整えてほしい。高齢者にもっと活躍してもらわないと人材不足は解消されない。
- ・これからのまちづくりは、若い世代に積極的に取り組んでほしいと思う。
- ・江別市内は下請業者が多い。若い人が起業して事業者が増え、市内の工事は市内の事業者でできるようになってほしい。起業支援の情報などを伝わりやすくしてほしい。
- ・人が訪れ、にぎわうまちを目指し、観光に取り組んでいくなど、アンケート調査結果で数字が低い箇所を大きく改善してはどうか。また、何か抜きん出たスポーツ事業やスポーツ交流などにも力を入れてほしい。
- ・若い人たちが住む場所や環境づくりに力を入れているが、江別市に來たい方はまだ多いと



思うので、引き続き進めてほしい。土地がなくて住めないということがないようにしてほしい。

- ネームバリューが弱いと感じている。もっとブランド力を強めてほしいと思うが、アンケート調査結果を見ると、ブランド力よりも、高齢者や子どもたちが安心して暮らせることを求めているので、そちらに力を入れていくべきなのかとも思う。